

チラシあり

(A4 両面 1 枚)

令和 7 年 7 月 14 日

市政記者クラブ 様

名古屋市美術館長

美術館特別展「藤田嗣治 絵画と写真」の開催について

このたび、みだしの特別展を下記のとおり開催しますので、ぜひご周知いただきますようお願いいたします。

記

1 概要

エコール・ド・パリの寵児として世界的に活躍した画家である藤田嗣治が、数多くの写真を残したことは、ほとんど知られていません。本展では、「写真」を軸に藤田の絵画制作を再考し、絵画と写真が交錯する創造の軌跡を辿ります。

2 会期

令和 7 年 9 月 27 日(土)～12 月 7 日(日) (63 日間)

休館日は、毎週月曜日(ただし、10 月 13 日・11 月 3 日・11 月 24 日の月曜日は開館)、10 月 14 日(火) 及び 11 月 4 日(火)

3 主催

名古屋市美術館、読売新聞社、メ〜テレ

4 観覧料

一般 1,800 円(前売 1,600 円)、高大生 1,000 円(前売 800 円)、中学生以下無料

5 本展の特長 (見どころ)

(1) 藤田嗣治が残した写真に注目する初の展覧会

画家として世界的に知られる藤田嗣治が、数多くの写真を残したことはほとんど知られてきませんでした。本展では、「写真」を軸に藤田の創造の軌跡を辿ります。

(2) 藤田嗣治の戦略的な自己演出

オカっぱ頭に丸眼鏡とチョビ髭のアイコンックな藤田の容貌は、「自画像」だけでなく、写真によって広く流布しました。藤田がいかに写真というメディアの力に着目していたかに注目します。

(3) 多数の日本初公開の写真を展示

日本とフランス・エソンヌ県に現存する写真を厳選して紹介し、これまで公開されることになった写真も多数展示します。

6 関連催事

記念講演会「藤田嗣治と写真—記憶、追憶、家族」

〔日時〕 9 月 27 日 (土) 13:00～ (約 90 分)

〔講師〕 佐藤幸宏氏 (札幌芸術の森美術館館長、本展監修者)

ほか、学芸員による解説会、子どもを対象にしたイベントなどを予定

名古屋市美術館

担当 長谷部、松井

電話：212-0001